

平成22年度 第1回公民館運営審議会 会議概要

- 1 審議会名 公民館運営審議会
- 2 日 時 平成22年4月22日 午後3時30分から午後4時45分まで
- 3 会 場 明科総合支所2F大会議室
- 4 出席者 神谷会長、降旗副会長、内田委員、三澤委員、下里委員、大倉委員、青柳委員、平倉委員、小林委員、曾根原委員、遠藤委員、手塚委員、吉澤委員
- 5 市側出席者 丸山教育長、飯沼教育次長、赤羽社会教育課長、内田中央公民館長、中村穂高公民館長、千國三郷公民館長、浅見明科公民館長、青柳中央公民館主事、山田豊科公民館主事、平川穂高公民館主事、高嶋三郷公民館主事、猿田堀金公民館主事、下里明科公民館主事、関中央公民館主事
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成22年5月10日

協 議 事 項 等

- 1 開 会
- 2 あいさつ  
教育長
- 3 委嘱書交付  
教育長より  
自己紹介
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 協議事項
  - 1) 平成22年度公民館事業計画について
  - 2) 平成21年度実施公民館アンケートについて
  - 3) その他
- 6 閉 会

《会長及び副会長の選出について》

(社会教育課長)

会長及び副会長の選出についてであるが、どのようにしたらよいか。

(委員)

事務局に案があればお示ししていただきたい。

(社会教育課長)

発表させていただきご承認していただくということでよろしいか。

<異議なし>

(社会教育課長)

会長には神谷委員、副会長に降旗委員さんをお願いしたいがよろしいでしょうか。ぜひお願いするということでもよろしいか。

<拍手にて承認>

<会長・副会長就任挨拶>

【平成22年度公民館事業計画について】

《各公民館長より説明》

【平成21年度実施公民館アンケートについて】

《中央公民館主事より説明》

(中央公民館主事)

前年度、各公民館長が実施した公民館に対するアンケートについて、実際に発表を行う芸文協や文化協会については各地域身近な地域で発表する機会があればとの意見や、鑑賞する側からすると1回でたくさんのもを見たいとの意見もある。そのような意見を踏まえた中で、今後どのようにやっていくかということ今年度公民館審議委員の意見をお聞かせいただきたい。また、前年度最後の会議で安曇野らしい講座について話題になり、道祖神を使った講座が安曇野らしいとの意見がでたが、どのような講座が安曇野らしいのかということも今年度はあわせてご検討いただきたい。文章等で皆様の意見をいただいた上でそれを集約し、次回の会議を開催するという方法で今年度はやっていきたいのでよろしく願いたい。

(委員)

事務局からいい提案があったので、是非そのようにしていただきたい。公民館の講座の入れ替え等住民の声を反映していけばいいと思う。依頼があった時は是非提出させていただく。

(委員)

芸術文化協会について話があったが、協会内もいろいろな分野がある。合併後5年を経過したが、協会には連絡協議会が5地区で組織されており、その中でも一同にやったらどうかという意見もあった。しかし高齢化や会場の問題、地域性を重視したほうがとの意見もある。そういった中で、芸文協として交流会をもとうと過去4年、明科での「あやめ祭り」の際に交流会を実施してきており、今年度も予定しており、これは非常に大切な交流の場であると考えている。

(会長)

今の委員の意見について各公民館長は持ち帰って検討していただきたい。協力ができることであればぜひ協力をお願いしたい。

(明科公民館長)

昨年度、初めて交流会に参加させてもらったが、成果はあったように思う。発表の方法等を検討し、これがひとつの核になっていけばいいと思う。ぜひ各地区で検討していただきたい。非常にいい雰囲気である。

(副会長)

芸文協どうして会長を通して「あやめ祭り」への参加を依頼されてだけであり、公民館または分館をとおしての話はいまのところない。芸文協どうしての交流として始まったことであるが、今後はもう少し公民館サイドで交流ができるような考え方をしていく方向で考えられればと思う。

【その他について】

(委員)

コミュニケーションをかわしたいので会の回数を増やしてほしい。

(会長)

事務局と相談しながら希望にそうように計画をたてたいと思っているのでよろしく願いたい。

(委員)

次の点について願いたい。

①各公民館の委員の設置状況について ②公民館設置条例、施行規則を全文いただきたい ③職員の資格状況及び資格取得者数(社会教育主事と学芸員)それがどのように配置されているか ④公民館の位置と規模について知りたいため視察したい

その他内部研修についてはどのように行われているか。また主事会というようなものはあるか。

(中央公民館主事)

館長会の研修については、県の館長総会への参加と、年に1回県外への視察ということで館長主事研修を行っている。視察先での街づくり、地域づくりを重点においた研修を行っている。市独自の研修は特に設けていないが、県、中信地区公民館運営協議会、生涯学習センターへの研修に参加をしている。館長主事会議は月1回行っている。

(委員)

各公民館の予算の配分等はどのようにされているのか。

(中央公民館主事)

提示した事業計画の右欄に予算額は記載させていただいてあるが。

(委員)

各地区バラつきがあるので何か基準があるのか気になったのだが。

(会長)

予算については次回の会議に際に事務局より説明していただくとのことでよろしいか。

(委員)

それぞれの分館の事業をみせていただいたが、それぞれ地域の特色がでていていると思う。各公民館の方々の努力によるものであり敬意を表する。が、今後協議を続けていく中で公民館の活動は何のためにあるかという視点がぼけてくる気がする。地域の人たちが心を通じ合い知り合うという人間関係を作ることこそ公民館活動の原点であると思う。あまり高尚な講座でなくていいのでお互いが絆を強くする、隣近所の交流しあうようなものこそが今大事であると思う。

閉 会

